



SERVICE CLUB TO THE YMCA

Nagoya GRAMPUS

名古屋 グランパス ワイズメンズクラブ
 NAGOYA YMCA 5-29KAMIMAEZU-CHOME NAKAKU,
 NAGOYA 460 JAPAN



- ① 国際会長標語 ビジョンある奉仕
- ② アジア会長標語 深めよう地域社会に兄弟愛を
- ③ 日本区理事標語 勇気ある変革・愛ある行動! -日本区6000への実りを求めて-
- ④ 中部部長標語 今こそワイズ!
- ⑤ 会長標語 感動を心に若い力を!

1995年 4月号

Inspiration to Spread Our Wings with Youthful Power

〈 今月の聖句 〉

だれでも持っている人は更に与えられて豊かになるが、持っていない人は持っているものまで取り上げられる。

マタイによる福音書 第25章 29節

1995年4月例会のご案内

第一例会

と き ; 4月10日(月) 19時~21時
 と ころ ; 名古屋不二パークホテル
 中区錦3-15-30 ☎ 962-2289
 プログラム ; 卓話「フィリピンワークキャンプ」
 講師 船戸団長 and 社会体育学生数名
 17回目を迎えるワークキャンプは、3月2日~3月30日、ネグロス島バラングガイ市ウト村での活動をお話していただきます。「ウォーターシステム、バスケットボールコート作り等」

第二例会

と き ; 4月25日(木) 19時~20時30分
 と ころ ; 名古屋YMCA 4階407号室

ブリテン委員会

と き ; 4月20日(木) 19時~20時30分
 と ころ ; 名古屋YMCA 4階

5月19日(金)~21日(日) 訪韓
 9:30発 - 19:05発 大韓航空

一泊会

7月15日(土)~16日(日)
 湯の山 御在所登山

5月14日(日) 三井会長宅 バーベキュー

グランパストーク

卓話 「マルチメディア・ほんの入口」

滝川 眞 充

今回は荒川兄の勤務する日本電話施設(株)の技術研究所・技術開発室々長清水裕一氏を迎え、日頃マスコミ等で話題になるマルチメディアと通信の現状と将来の展望を我々素人にわかるように、ほんの入口部分をお話して下さいました。我々メンバーの中にも携帯電話を利用する人が多くなりましたが通信の仕組みを理解してる人は殆どいないのではないかと?

シャノンの定理(8000回/1秒→波形)から通信の仕組み、技術の革新(アナログ→デジタル)等黒板をフルに使って説明してもらいましたが、ビット、2進・16進数、光の屈折率など日頃の勉強不足のため説

明される内容そのものを理解する事が難しく清水氏にはご迷惑をかけました。しかし、理解する、しないに関わらず我々の生活のなかへマルチメディアはどんどんはいりこんでいます。FAX、パソコンは言うに及ばずカラオケも通信の活用により多くの選曲が可能となりました。今後も技術革新により音声、映像等多岐にわたり利用する範囲も広がり、生活も外出の必要のない世の中になるのも間近に迫っています。しかし、人の顔を見ずに事足りる世の中、コミュニケーションがない世界はなんと味気無く、主体性のない社会になるでしょう。しかし、心配するほどマルチメディアを理解し、活用している人はまわりにはほとんどいません。逆に避けて逃げている人のほうが心配ではないでしょうか?

これからは分からない単語などあれば荒川兄に積極的に聞き、理解し、活用しましょう。

3月31日現在	例会出席状況				BFポイント		クラブファンド(月)	
	在籍者	24名	第1例会	16名	当月・切手	-	ニコBOXノート	-
	例会出席者	18名	第2例会	13名	当月・現金	-	ファンド	-
	当月出席率	75%	部会他	21名	累計	-	合計	-

韓国仁川市サンドルクラブ訪日記

服部 庄三

3月17日、残念ながら曇り空の下、定刻の1時30分にサンドルクラブの一行14名が名古屋空港に到着しました。メン8名、メネット6名のほとんどが先回訪韓した時の顔なじみ。互いに再会を喜びあった後、阿部兄運転のマイクロバスで名古屋城に向かいました。歓迎実行委員会で事前に何回も打合せしたプログラムのスタート、グランパスメンバーは少し緊張ぎみです。

名古屋城では抹茶とお菓子で一服し、グランパスの名前の由来となった金シャチについての説明、城内、天守閣の見学と約2時間を過ごした後、宿泊する名古屋キャッスルホテルにチェックイン。メンバー全員が部屋からの眺めに満足気味です。



6時からのAVホールでの歓迎会では、両会長あいさつ、総主事の坂本氏のあいさつ、続いておみやげ交換の後、IBC締結について、5月20日の韓国中部大会にて行いたいとの申し出があり、検討することとなりました。

場所を変えて「天元」での懐石料理。店のお酒が無くなるほどの盛り上がりとなり、両次期会長の夢あふれる抱負等、オーバードリンクぎみながらたのしい夕食会。今後のブラザー交流が楽しみです。

翌19日は、水族館、「リトルカーニバル」の昼食とつづき、午後からのショッピングでは、大須アメ横、松坂屋と円高で不利な条件にもかかわらず、それぞれ上手に買い物されたようです。夕食のちゃんこ鍋も、あまりの具の多さに感嘆の声があがり、十分満腹になった様でした。

GHEUN SANJUL



2日目のメインイベントのカラオケボックスでは、総勢40人近いメンバーの大フィーバーとなり韓国の歌あり、日本の歌あり、ディスコありの深夜までの楽しいパーティとなりました。吉田一誠コメット君のカラオケ操作のテクニックが十分発揮されおおいに助かりました。

最終日20日は、徳川美術館の見学。ちょうどひな人形展が催されており、メネット達の興味をひいたようです。また日本の文化に関心を持たれ、ゆっくり見学された方もみえ別棟での昼食時間まで日本文化にひたっておられました。

その後、今回のスケジュールも無事終了し名古屋空港から韓国への帰路につかれました。サンドルクラブの方々の期待のどれだけを満足していただけたか気掛かりですが、我々の精一杯の努力をくみ取っていただければと願っています。

最後に、通訳で重要な役目を果たしてくださった、イー君、キム君。そしてバスの手配、運転でお世話になった池野兄の従業員の方々、他に様々の面でご協力いただいた方々に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



メネット 服部 智子

韓国よりサンドルクラブの皆様が名古屋にこられることになり、私もメネットの一人としてお手伝いさせていただくことになりました。

3日間すべてのスケジュールには参加できませんでしたが、グランパスのワイズメン、メネットのみなさまと協力し、私なりの交流ができたのではないかと考えています。

韓国は、日本のおとなりの国。飛行機でわずかな時間でいける国ですが、よく「近くて遠い国」といわれ、私自身も2月に主人が訪問するまで、漠然としか理解していなかったように思います。ですから、今回、私が参加することにとっても不安がありました。ことに言葉のことが一番でした。うまくコミュニケーションができるだろうか？ お互いの気持ちがどこまで伝わるのか？ その点、二人の通訳の方は十分に力を発揮してくださったのではないのでしょうか。



また、今回こられたメネットの中に、少しだけ日本語のわかる方がいらっしゃったことにおどろき、同時にうれしく思いました。

次回は私も韓国に行って、遠い昔、日本に様々な文化をもたらしたその国を見てこようと思っています。



グランパスニュース

“阪神大震災救援活動を支援する会”

阪神大震災発生から2ヵ月以上が経過し、現地の状況も変化し、救援から復興へと活動の中心も移ったと言われ、世の中の関心も薄くなりつつある様です。一方、生活の目途や、復興するにも経済的な見通しが立たず避難所から自立することもできず簡単には片付きそうもない問題を残した方々が数多く居られることも現実です。又、地震発生以来行政に代わり組織的なボランティア活動の中心となって働いた神戸YMCAも事業収入が激減し存在の基盤がゆらいでいるのが実情です。

炊き出し、街頭募金と言った緊急の救援活動に代わりこれからは先の長い支援活動が必要になっています。名古屋YMCAではこれらの活動を維持して行く為の受け皿として“阪神大震災救援活動を支援する会”を発足させることになりました。これは今まで“在名6ワイズ連絡会”を発展させ、ワイズのみならず巾広く協力を呼びかけて行こうと言うのがその主旨です。

今後は現地で行われるワークキャンプ(名古屋YMCAの担当は5月11日～16日の5泊6日40名)の人員募集、資金調達と言った救援活動や神戸YMCAの復興計画への協力等、全国のYMCAやワイズと協調しながら具体的な活動を行って行きます。

地震発生後に誰もが感じた“何かをしなれば”と言う気持ちを忘れることなく持ち続けることがボランティアの原点でありワイズの運動の発展にも不可欠です。今までのご協力感谢您すると共に引き続き皆さんのご協力をお願いします。

(“阪神大震災救援活動を支援する会”

世話人吉田一誠)

ハッピーバースデー

- メンバー 11日 宮木常二郎
- 12日 馬場寅太郎
- 27日 内垣内登壘
- メネット 24日 荒川 恒子
- コメント 24日 井川友里香

94 - 95 出席表

94.3.31

No	氏名	例会	3/2 IBC	3/6 IBC	3/13 第一例会	サ3/17 ドル18	3/23 プリテン	3/28 第二例会	出席ポイント
1	阿部 一雄	○	○	○	○	○	○	○	17
2	荒川 恭次	○	○	○	○	○	○	○	25
3	井川 幸吉	○	○	○	○	○	○	○	24
4	池野 輝昭	○	○	○	○	○	○	○	16
5	内垣内 登壘	○	○	○	○	○	○	○	16
6	馬場 寅太郎	○	○	○	○	○	○	○	12
7	尾崎 史忠	○	○	○	○	○	○	○	15
8	加藤 道子	○	○	○	○	○	○	○	24
9	坂口 功祐	○	○	○	○	○	○	○	38
10	坂倉 洋	○	○	○	○	○	○	○	29
11	佐藤 壽晃	○	○	○	○	○	○	○	20
12	真田 幸治	○	○	○	○	○	○	○	4
13	滝川 眞充	○	○	○	○	○	○	○	6
14	丹羽 真清	○	○	○	○	○	○	○	21
15	服部 庄三	○	○	○	○	○	○	○	29
16	早川 隆	○	○	○	○	○	○	○	17
17	林 勝博	○	○	○	○	○	○	○	1
18	坂野 清治	○	○	○	○	○	○	○	9
19	三井 秀和	○	○	○	○	○	○	○	37
20	宮木 常二郎	○	○	○	○	○	○	○	0
21	油口 直広	○	○	○	○	○	○	○	14
22	吉田 一誠	○	○	○	○	○	○	○	29
23	吉田 正	○	○	○	○	○	○	○	16
24	木野村 映	○	○	○	○	○	○	○	37

1995 - 1996 年度役員 (案)

- 会 長 井川 幸吉
- 副 会 長 坂倉 洋
- 書 記 早川 隆・坂野 清治
- 会 計 荒川 恭次・加藤 道子
- 会 計 監 査 宮木常二郎
- 直 前 会 長 三井 秀和
- 連 絡 主 事 木野村 映
- E M C 丹羽 真清・滝川 眞充
- Y M C A . S 阿部 一雄・真田 幸治
- C S ・ B F 尾崎 史忠・油口 直広
- I B C 池野 輝昭・三井 秀和
- 佐藤 壽晃
- プ ロ グ ラ ム 林 勝博・馬場寅太郎
- フ ァ ン ド 吉田 一誠・吉田 正
- ブ リ テ ン 坂口 功祐・服部 庄三
- 内垣内登壘・木野村 映
- C S ・ T O F 吉田 正 (服部庄三サポート)